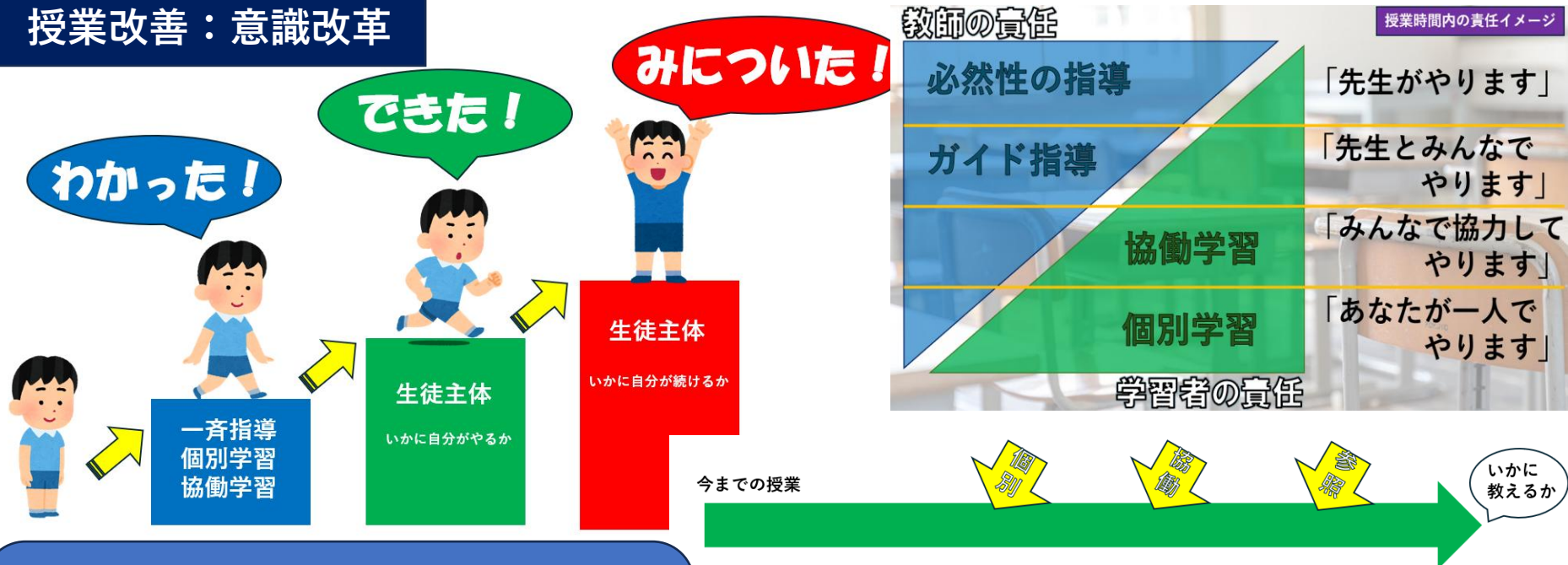


リーディングDXスクール事業【実践事例】

幸手市立幸手中学校（埼玉県）【指定校】

【取組内容】 自学自習できる生徒の育成に向けた、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

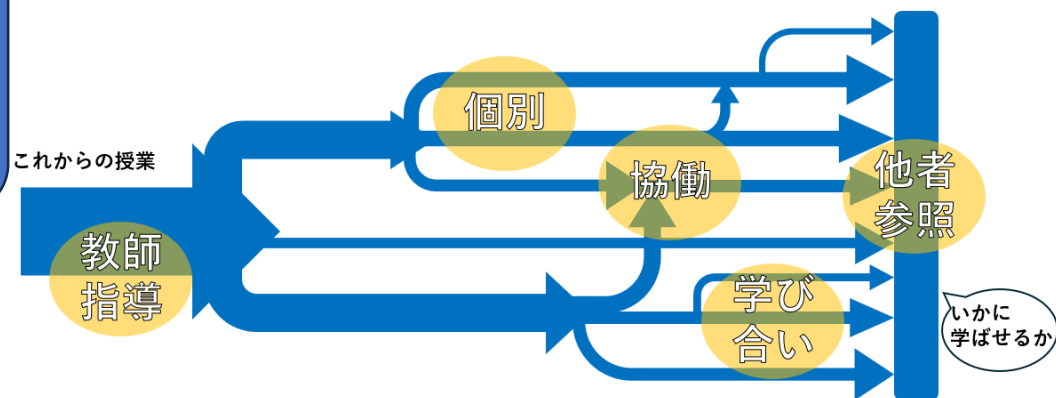
授業改善：意識改革



主体的・対話的・深い学びが実現する授業を展開するためにも、生徒の学びが大切にされる授業への転換を目指す！

Q「教えない授業」がいいの？

A「学習者の考える」を導く課題や発問を準備する。生徒に丸投げではない。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

幸手市立幸手中学校（埼玉県）【指定校】

【取組内容】 デジタル・シティズンシップの視点を取り入れた情報活用能力の育成

実用的切り口から当事者意識を高める育成



【アプリ開発団体による授業】

- ・ 情報収集や取扱い方法を学び、さらにファクトチェックの視点をゲーム形式で学習。
- ・ 「疑う、調べる、判断する」の3つのステップから、グループで情報を分析し、自らの力で判断するプログラム。
- ・ 最後にスタッフからワークショップが行われ、情報活用能力の育成の観点から本時の取組の振り返りと解説。

※今まで取り組んだDcの実践編として位置づけ、中学3年生を対象に企画・運営された。

- ・ 現在我々の周りを取り巻く情報の取扱い環境から、生成AIの特性危険性等を学び、実際に体験することで活用する力を学習。
- ・ グループワークを活用し、協働編集で使い方を学習。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

幸手市立幸手中学校（埼玉県）【指定校】

【取組内容】 クラウド活用による校務DXの推進

クラウドの活用

- ① ワンドライブの活用
 - ・ 行事データや学年会資料のフォルダを担当や学年職員で共有。
 - ・ いつでも、どこでも編集・修正が出来る環境を整え、教職員についてはBYODの考え方で校務DXを推進。
- ② プラットフォーム（チームス）の活用
 - ・ 研修会での資料提供、授業に使用する資料等をアップロードし、共有はもちろんのこと、各自のデータとして活用。
 - ・ 教科内で振り返り用紙等を共通した様式で活用し、生徒の学習環境を整備。
- ③ 教育委員会とのシームレスな情報共有
 - ・ 必要な情報の提供や共有、修正の実現。

